

令和4年度第3回理事会の開催

令和4年度第3回理事会が令和4年9月21日、日本獣医師会会議室及びインターネットを用いたオンライン出席を併用して開催された。本理事会では、決議事項として、1議案について諮られ、可決された後、説明・報告事項、日本獣医師連盟の活動報告等について、説明・報告が行われた。議事概要は以下のとおりである。

令和4年度第3回理事会の議事概要

I 日時：令和4年9月21日(水) 13:30～17:30

II 場所：日本獣医師会・大会議室

III 出席者（*はオンラインによる出席者）

【会長】 藏内勇夫

【副会長】 砂原和文*、境 政人（兼専務理事）

【地区理事】 高橋 徹（北海道地区）

浦山良雄（東北地区）*

鳥海 弘（関東地区）

上野弘道（東京地区）

石黒利治（中部地区）

吉岡 豊（近畿地区）

田中尚秋（中国地区）

佐野明彦（四国地区）

草場治雄（九州地区）

【職域理事】 佐藤れえ子（学術・教育・研究）*

西川治彦（産業動物臨床）

大林清幸（小動物臨床）*

横尾 彰（家畜共済）

宮澤 隆（家畜防疫・衛生）

加地祥文（公衆衛生）

佐伯 潤（動物福祉・愛護）

【監事】 宇佐美 晃*、小山田富弥、柴山隆史

【顧問】 酒井健夫

（欠席） 村中志朗（副会長）、栗本まさ子（特任）

IV 議事

【決議事項】

第1号議案 賛助会員入会に関する件

【説明・報告事項】

- 第21回アジア獣医師会連合（FAVA）大会及び第40回日本獣医師会獣医学術学会年次大会（令和4年度）の開催等に関する件
- 獣医療広告制限の見直しに関する件
- 政策提言活動等に関する件
- 令和4年福島沖地震及びウクライナ侵攻における被災動物等に対する支援等に関する件
- 野口英世アフリカ賞に関する件

6 令和4年度動物愛護週間中央行事及び2022動物感謝デー in JAPAN “World Veterinary Day” に関する件

7 特別委員会及び部会委員会に関する件

8 職務執行状況に関する件（業務運営概況等を含む）

9 改正動物愛護管理法における販売用犬猫に対するマイクロチップの装着・登録の義務化に関する件

10 その他

【その他の報告・連絡事項】

- 当面の主要会議等の開催計画に関する件
- 日本獣医師連盟の活動報告に関する件

V 会議概要

【開会】

事務局から定款第41条に規定された定足数を満たし、本理事会が成立することが報告され、開会した。

【会長挨拶】

本日はご多忙の中、令和4年度の第3回公益社団法人日本獣医師会理事会にご出席をいただき、誠にありがとうございます。

つい先日まで、全国の地区大会、学会に、われわれ三役が手分けして出席をさせていただきました。それぞれの地域において、コロナ対策等を踏まえ、地域の実情に合わせた大会等を開催いただきました。改めて、関係者の方々のご努力、ご苦勞に感謝を申し上げる次第でございます。また、われわれを温かく受け入れていただきまして、有意義な意見交換等を交わすことができたことにつきまして、心から感謝いたします。

さて、新型コロナウイルス感染症は、第7波において、これまでにない感染者の増加を示していましたが、8月後半以降はようやく新規感染者が減少に転じました。このような中、本日の理事会は対面とZoomとの併用として開催をさせていただきました。今後の感染状況は予断を許しませんが、社会活動を維持しながら防疫対応を行うことにより、11月の第21回アジア獣医師会連合（FAVA）大会も福岡市での対面開催が可能になるものと考え、鋭意準備を進めているところでございます。

また、FAVAのワンヘルスに関する福岡事務所の設置を、FAVA執行部会で満場一致で賛成をいただき、決定をいただいているところでございます。これを踏まえまして、福岡県知事にその旨お伝えをいたしましたところ、つい先日、福岡県が所有いたしますアクロス福岡という、福岡市一番の繁華街にある国連等の組織が入っているビルの一角をどうだろうかと提案をいただいたところでございますので、本会の業務運営幹部会等で諮り、その場所をFAVA執行部に提案したいと考えておりますので、引き続き、皆様方の全面的な協力をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

各地区大会で申し上げてきました、改正動物愛護法及び愛玩動物看護師法の制定に対する本会の対応につきましては、現在非常に重要な時期に差しかかっております。特に、改正動物愛護法による、販売用犬猫へのマイクロチップの装着・登録の義務化につきましては、本会の役員各位、また全国の地方獣医師会の皆様からさまざまなお意見をいただき、環境省とラウンドテーブル会議を開催し、AIPOの仕組みを参考にしつつ、施策をよりよい方向に改善すべく、努力を重ねておるところでございます。本制度につきましては、会員構成獣医師の皆様にご協力いただき、飼育者の皆様のご理解を得ながら進めていかなければなりません。皆様のご心配を払拭できるよう、関係者と十分に連携を取り、情報を共有しながら対応してまいりたいと考えておりますので、どうか今後ともご理解とご協力をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

FAVA大会が目前に迫り、本番に向けて大車輪で準備を進めておりますが、いまだ、当初予定をしていた数の参加登録者が得られておりません。本大会は、ポストコロナ時代の幕開けとして、通常の日常生活や経済活動の再出発を期す記念すべき国際大会にならなければならないと考えております。理事、監事の皆様方には、これまで大変なお支援を賜ってまいりましたが、いまだ一度の最大限のご尽力をいただきますようお願い申し上げます。

10月1日には、3年ぶりに動物感謝デーが開催されます。今回は初めて上野公園に場所を移して、動物愛護週間の中央行事の屋内行事と同時開催となります。コロナ禍の中で可能な限りの感染対策を講じ、企画内容も一部制約を受けての開催になりますが、前日の全国獣医師会会長会議とともに、多数の皆様にご出席、ご参加をいただきますよう、お待ち申し上げます。

本日は今年度3回目となる理事会です。問題が山積する中での重要な協議の場となります。皆様方には、何卒忌憚のないご意見をお寄せいただき、本会の適正な運営に引き続きご尽力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。挨拶に代えさせていただきます。

【決議事項】

第1号議案 賛助会員入会に関する件

境副会長兼専務理事から、団体賛助会員入会希望の1社について説明がなされ、原案どおり可決された。

【説明・報告事項】

1 第21回アジア獣医師会連合（FAVA）大会及び第40回日本獣医師会獣医学術学会年次大会（令和4年度）の開催等に関する件

境副会長兼専務理事から、本年8月6日に開催されたFAVA執行部会議の概要が説明されるとともに、第21回アジア獣医師会連合（FAVA）大会及び第40回日本獣医師会獣医学術学会年次大会（令和4年度）の開催内容と準備状況、参加登録申込みにおける超早期割の対象となる期間を延長して、一次登録の期限を10月17日正午までとすること、FAVAワンヘルス福岡オフィスの設置について準備を進めていること、パッケージスポンサーの確保等、協賛募集はおおむね目標を達成できたこと、引き続き参加登録者の確保に向けてご協力いただきたいこと等が説明された。

2 獣医療広告制限の見直しに関する件

境副会長兼専務理事から、獣医療法第17条において獣医師または診療施設の業務に関して、専門科名や学位を除き、技能、療法、経歴に関する事項の広告を制限している現状にある中、今般農林水産省において、獣医療の受け手である飼育者が提供される獣医療サービスを正しく理解し、適切に選択できるような、令和4年7月8日付で農林水産大臣から獣医事審議会会長あてに、広告制限事項を見直す旨諮問され、現在認められていない事項である①獣医師関係団体により専門性の認定を受けた旨に関する事、いわゆる認定・専門獣医師制度により取得した専門性を示す名称、②病院勤務歴などの経歴、③ノミ・ダニ予防などの技能・療法、④診療の費用について制限を見直す方向で今後検討が進められることについて説明された。

3 政策提言活動等に関する件

境副会長兼専務理事から、本年6月～9月までの関係閣僚及び国会議員等への要請等の政策提言活動が報告された。また、本年7月12日に12年ぶりに開催された自由民主党獣医師問題議員連盟総会について報告された。あわせて、公務員獣医師の処遇改善について総務大臣あて要請を行ったことが報告された。

4 令和4年福島沖地震及びウクライナ侵攻における被災動物等に対する支援等に関する件

境副会長兼専務理事から、ウクライナ避難民同行飼育

犬等に対する対応状況が説明され、継続的支援が依頼された。

5 野口英世アフリカ賞に関する件

境副会長兼専務理事から、支援に対するお礼と引き続きの募集が依頼された。日本獣医師会が不足分を拠出し、合計額 500 万円として寄付を行うことが報告された。出席理事から、さまざまな寄付金募集がある中、できれば会費の徴収と同時に年間の寄付金対応額をあらかじめ定めていただければ地方会として予算組みしやすくなる旨の意見が出された。

6 令和 4 年度動物愛護週間中央行事及び 2022 動物感謝デー in JAPAN “World Veterinary Day” に関する件

境副会長兼専務理事から、令和 4 年度動物愛護週間中央行事及び 2022 動物感謝デー in JAPAN “World Veterinary Day” の開催概要が説明された。

7 特別委員会及び部会委員会に関する件

マイクロチップ普及推進検討委員会と小動物臨床委員会の合同委員会について、鳥海理事及び大林理事から説明された。境副会長兼専務理事から令和 4 年 5 月 17 日～同年 8 月 19 日に開催された部会委員会の開催概要について説明された後、佐伯理事から日本動物児童文学賞審査委員会、境副会長兼専務理事から女性獣医師活躍推進委員会の開催概要が説明された。

8 職務執行状況に関する件（業務運営概況等を含む）

境副会長兼専務理事から業務運営概況等について説明された後、各地区理事から職務執行状況が報告された。

9 改正動物愛護管理法における販売用犬猫に対するマイクロチップの装着・登録の義務化に関する件

境副会長兼専務理事から 6 月 1 日の法施行後における登録業務の状況と課題、制度的課題への対応に向けた活

動としての要請活動報告、環境省と本会によるマイクロチップ登録制度及び情報システムに係るラウンドテーブル会議の検討状況等が報告された。

出席理事から、収支赤字が見込まれることへの対策、ラウンドテーブル会議中でのワンストップサービスの位置づけについて質問され、境副会長兼専務理事から、収支については当面推移を見守る必要があるものの、AIPO を含めた全体的な対応を考えながら所要の要請活動を進めていく必要があること、犬の登録に関するワンストップサービスについては、現状では動物愛護管理法に基づくマイクロチップの登録と狂犬病予防法に基づく犬の登録の原簿の一元化には程遠く、ワンストップサービスの語は用いない方向で進んでいるが、ラウンドテーブル会議においては次期法改正も視野に真の意味でのワンストップサービス実現を検討していることが報告された。

10 その他

出席監事から、FAVA 大会への参加登録推進に関し、今一度地方獣医師会に働きかけを行うことが提案され、境副会長兼専務理事から、地区理事の皆様とともに対応を進めたい旨回答された。

【その他の報告・連絡事項】

1 当面の主要会議等の開催計画に関する件

境副会長兼専務理事から、当面の関係会議等の開催日程が説明された。

2 日本獣医師連盟の活動報告に関する件

境委員長代行兼会計責任者から、活動報告及び参議院議員選挙対応等について説明された。

【閉 会】

藏内会長からすべての議案が終了した旨報告され、円滑な議事進行への協力にお礼が述べられた後、事務局から閉会が告げられた。